

## 鹿追移住0年

宮澤 武

平成十八年三月二十八日快晴の中、引越し荷物が到着した。引越し業者が手際よく荷物を搬入してくれ、二時間ほどで一応荷物は全て降ろされた。

どの部屋も段ボールの山で足の踏み場もない。とりあえず今晚寝るためのベッドの組立と寝具の荷解きを終えた。他にさし当たって必要な台所用品や生活必需品の荷解きを優先し、妻と二人で外が暗くなるのも忘れて没頭する。

気がつくとは何やら外は季節外れの雪らしい。

まだ物置も車庫も出来ていないところにもってきてこの雪である。止むをえず外置きであった荷物はサンデッキに集合しブルーシートを被せて雪を避けることにする。そうこうするうちにも雪はしんしんと降り続いて、翌朝、外は四十センチもの大雪であった。

翌二十九日に電話を敷設する予定であったが、午後三時を過ぎてても

除雪は来ずNTTからも連絡はない。仕方なく除雪道具を引っ張り出して玄関から取り付け道路までの除雪を始めるが、湿雪で重く引越しの疲れもあつてなかなか思うようにはかどらない。

NTTからは大雪で鹿追までいけないので、延期してほしいとのこと。

鹿追まで来たとしても、町道九号線から自宅までの取り付け道路の除雪は出来ていないのでそれも止むをえないとあきらめる。

除雪が来たのは結局午後七時ころであった。自宅近くに町の除雪センターがあるのにと恨み言の愚痴もでる。鹿追移住初日から印象に残る出来事であった。

鹿追文芸の原稿を勧められたのは暮も押し追った十二月中頃であった。六月の町内会で知り合った近所の藤田先生から鹿追文芸をいただきお誘いを受けた。聞けば原稿の締め切りは十一月末とのこと。「締め切りは過ぎたがまだ間に合うのでぜひ投稿してほしい」という。

定年退職とはいえ、時々先の勤務地の釧路へ出かけて仕事することもあり、落ち着いて文章を書くという気にもなれずにいた。年が明け

元旦には「扇が原」へ「来光を見に行き、帰りに鹿追神社へ参拝し、町内会の新年会が午前十一時から北町会館で行われた。

原稿のことはすっかり失念していたが、ここで鹿追文芸の編集者の一人である伊藤朝子さんから再び投稿を強く勧められたのである。

さて何を書こうか。構想もないまま雪のない正月を気持ちよく過ごしていたもののやはり原稿のことが頭から離れずにいる。「十日くらいまでは結構ですよ」といわれてから今日はもう六日である。予報では六、七、八と三連休は爆弾低気圧が来るとか。家内からも原稿を早く書いては？と催促される始末。やっと取り掛かることにする。

遅くなりましたが、私は鹿追北五線一〇番地四十六に移住しました宮澤と申します。三人の子供はそれぞれ独立し、家内と二人で余生をのんびりと過ごす予定？で釧路より移住してまいりました。

釧路では釧路高専の教員として十九年間で退職の数年前より退職後釧路にそのまま暮らすかどうか家内とも相談し、「友人・親戚が多く、かつ広い土地でのガーデニングや野菜づくりができ、

冬はスキーができる十勝へ移住できればいいね」という漠然とした将来像がイメージされていた。

ちなみに私ども夫婦は、芽室中学校の同級生である。

そんな折、芽室のやはり同級生より鹿追の分譲地の情報を得たのである。何度か鹿追へ足を運ぶ内に平成十六年に、地主の太田さんとも親しくなり、畑地であった上地は十分広く、家庭菜園もすぐ始められ、かつサホロスキー揚が家の窓から望むことができるということから鹿追移住を決意した。

その後住宅建設を平成十七年秋より開始し、平成十八年三月に無事移住が完了したのである。

移住0年目は家周辺の植栽、玄関前の舗装、車庫建設、工房建設の傍ら、家内ともども野菜づくりに精を出した。おかげで毎日新鮮な野菜をたっぷり食卓にのせることができ野菜づくり一年目にしてはまずまず上出来であったと自讃している。

野菜づくりの顛末は、家内が詳しく書いてくれたのでそちらに譲るこ

とにするが、秋には大量の大根が収穫でき家内は漬物づくりに忙しい毎日を送った。

私は物置のキットを購入し何とか自力で工房を建設できたことが自信となり、様々な電動工具を購入し書斎のデスクや庭の花台、藤棚（バーゴラ）など木工に励んでいる。家内が大量の漬物を仕込んだので、工房はこれらの樽で占領されてしまった。そのため冬は木工仕事を休止し、スキーに専念することにする。

移住当初からスキーの体力維持のために、毎朝雨が降らない限り、町道九号線を北へ一時間ほどジョギングして汗を流してから一日が始まる。そして十二月からは時間があればサホロスキー場へと通っている。当初は家内も一緒に行っていたが、さすがに付き合いきれないのか最近は同行してくれない。今年は雪も少なく異常気象だという。

原稿を書いているうちに雪が降り始めた。予報では大雪とのこと。山はもう少し雪が降ってほしいが街中では雪は少ないほど良い。三月まで移住0年はまだ何か起こるか分からない。

了